



2020

国立大学法人 琉球大学病院

# 看護部概要



**モノレール [空港から]**

モノレール ●所要時間:約25分	儀保駅	路線バス (那覇バス) ●所要時間:約30分	97	琉球大学病院
モノレール ●所要時間:約27分	首里駅	タクシー	●所要時間:約15分	

**タクシー [空港から]**

所要時間:約35分  
路線:●空港→沖縄自動車道→琉球大学病院  
●空港→那覇うみそらトンネル→国道330号→琉球大学病院

**バス [那覇バスターミナルから]**

路線バス(20~30分に1本)  
97 番線(琉大線)那覇バス株式会社  
所要時間:約50分  
のりば:市外線バスターミナル(那覇市泉崎)  
路線:バスターミナル(泉崎)→国際通り(牧志)→儀保(首里)→琉球大学病院



## 看護部ホームページ

看護師募集については、ホームページの採用情報をご覧ください。採用試験、インターンシップ、施設見学、先輩との交流会情報についても、随時ホームページにアップします。



琉大病院のホームページからもアクセスできます。こちらをクリック!



<http://www.kango.med.u-ryukyu.ac.jp>





# 「知識」「技術」「思いやりの心」に基づいた安心・安全な看護の提供



**看護部の理念**  
専門的知識に基づいた看護実践を  
思いやりの心で提供する。



**Contents**

- 看護部長あいさつ・看護部方針・2020年度看護部目標…………… 3
- 看護部の組織…………… 4
- 専門・認定看護師の看護活動…………… 5
- 看護体制・勤務体制・看護方式…………… 7
- キャリア形成を支える教育体制…………… 8
- 看護師育成プログラム…………… 9
- 2020年度 現任教育 「新人看護師育成プログラム」…………… 11
- 2020年度 現任教育 「静脈注射教育プログラム」…………… 12
- 院内研修 「レベルⅠ教育」…………… 13
- 院内研修 「レベルⅡ教育」…………… 14
- 先輩ナースからのエール…………… 15
- 働き続けられる職場環境…………… 16
- 部署紹介…………… 17

## 看護部長のあいさつ

「働きがい・やりがいを看護の力に変える一専門職としての使命を果たす」



看護部長・副病院長  
(認定看護管理者)  
大嶺 千代美

令和元年は、皆さんにとってどんな年でしたか。「平成」から「令和」の節目は、誰もが時代の変化に無関心では居られない年ではなかったでしょうか。同時に地球に生きるものとして、自己の行動を振り返えざるを得ない年ではなかったでしょうか。世界中を自由に人とモノが行き交うグローバル社会は、私たちの生活に便利さをもたらすと共に地球温暖化という重大な影響を与えました。異常気象は台風の経路を変え、日本本土へ大規模な水害をもたらし、隣国から発生した新型コロナウイルスは「あっ」という間に世界中に広まり、今現在も人々の健康と生活に大きな脅威を与え続けています。自然破壊で失った命の怒りが、私たち人間に自然と共存することの意味を投げかけているように感じます。かけがいのない大切な命を守るためには、私たち看護職一人ひとりが今できることを確実に行うこと、専門職として

行動で示すことが生活の平常を取り戻すことに繋がると信じています。

「人生100年時代」に生きる専門職として、与えられた使命(沖縄の方言で「すくぶん」と言うそうです)を果たすこと、看護を必要とする人々を支えることは、社会を守ること、未来を創ることに繋がります。命のバトンを絶やさないうよう各々が常に自己研鑽に励み、新しいことへの挑戦を恐れず、得意分野を広げ、自己と仲間の成長を共に喜べる人であって欲しいと願います。

琉球大学病院看護部はどんな時代であっても、必要とされる看護が提供できるよう自らのキャリアを磨き、新しい時代に挑戦することを厭わないプロ意識の高い人材を育成します。患者さん・ご家族に信頼され、医療チームの要として看護の力を発揮し、専門職としての使命を果たしていきましょう。

## 看護部理念

専門的知識に基づいた看護実践を思いやりの心で提供する。

## 看護部の基本方針

1. 健康のあらゆる段階に対する全人的看護の実践
2. 高度先進医療における看護技術の開発並びに患者のQOLへの支援
3. 患者中心の医療提供のための他部門との協働および地域との連携
4. 看護の質向上を目指した教育・研究の実践と業務改善
5. 働きやすい職場環境の整備とWLBの推進

## 2020年度 看護目標

1. 倫理的配慮と個別性を重視した安心・安全な療養環境を提供する。
2. 臨床判断力を高め、専門性を発揮できる人材を育成する。
3. 業務をスリム化し、時間外勤務を縮減する。

## 看護部の組織



## 看護師数

2020年4月1日現在

看護部長	副看護部長	看護師長	副看護師長	看護師	看護師 (非常勤)	再雇用 (30時間)	看護師 合計	看護助手
1人	5人	25人	64人	576人	14人	8人	693人	69人

## 専門・認定看護師数

認定看護管理者	数	認定看護師	数
がん看護	2人	感染管理	4人
急性・重症患者看護	1人	皮膚・排泄ケア	5人
慢性疾患看護	1人	慢性心不全看護	2人
がん化学療法看護	3人	摂食・嚥下障害看護	2人
がん放射線療法看護	1人	認知症看護	2人
緩和ケア	2人	救急看護	1人
手術看護	1人	集中ケア	2人
		新生児集中ケア	1人
		認定看護師 計 12領域	26人

## 領域別資格取得者数

特定行為研修修了者	15人	リンパ浮腫療法士	1人
糖尿病療養指導士	10人	自己血輸血看護師	2人
呼吸療法認定士	13人	臨床輸血看護師	2人
認知症ケア専門士	1人	治験コーディネーター	1人
心臓リハビリテーション指導士	2人	消化器内視鏡技師	4人
HIVコーディネーター	2人	ACLS・ICLS	25人
NST専門療法士	3人	NCPR	19人
NST専門療法士実地修練修了者	140人	アドバンス助産師(レベルIII)	11人
第一種滅菌技師認定	1人	人工心臓管理技術認定士	2人
認定排泄ケア専門員	2人	腎臓病療養指導士	1人
口腔ケア認定士	17人	インターベンションエキスパートナース	1人

## 専門・認定看護師の看護活動



### 急性・重症患者看護専門看護師

集中治療部  
副看護師長  
具志 香奈絵

集中治療部に在籍し、生命の危機的状況にある患者さんとご家族に対してケアを実践しています。また、呼吸ケアチームの一員として病棟ラウンドを行い、安全に呼吸ケアの管理ができるよう助言を行っています。医療の高度化が進み様々な選択肢の中で、患者さんとご家族が最善の意思決定ができるよう、多職種による話し合いの機会を調整し支援しています。



### 慢性疾患看護専門看護師

7階東病棟  
看護師  
玉城 雄也

慢性疾患の中でも循環器看護のスペシャリティを活かして、主に心血管疾患患者を対象とした慢性疾患ケアの充実に取り組んでいます。心血管疾患は、長期的な経過を辿り、憎悪と寛解を繰り返しながら進行していくため、患者さんの病期や予後、QOLなどを考慮して、患者さん・家族が望む療養生活が実現できるように支援しています。



### 集中ケア認定看護師

集中治療部  
看護師長  
上原 泉

ICUに入室される患者さんの身体的・精神的苦痛の緩和を図り、早期回復への支援を行っています。特殊な環境下にある患者さんが回復と自己コントロール感を実感できる看護を目指しています。また、患者さん・ご家族とゴールを共有し、多職種と互いに専門性を発揮し協働して関わっています。



### がん化学療法看護認定看護師

外来化学療法室  
副看護師長  
里見 雄次

がん化学療法を受ける患者さん・ご家族の身体的・精神的・社会的状況を包括的に理解し、安全に安心して治療が続けられるよう専門性の高い看護を実践しています。また、がん化学療法看護に関する院内研修を行っています。

7階西病棟  
看護師  
日比野 綾乃

8階西病棟  
看護師  
諸見里 真



### がん看護専門看護師

10階東病棟  
副看護師長  
多和田 慎子

緩和ケアセンター  
看護師  
砂川 華

病棟・外来を問わず横断的に活動しながら、がん患者さん・家族、医療スタッフからの相談を受けています。患者さんが、がん闘いながら孤立せず、自分らしく生きていくことができるように多職種との連携を通して支援をしています。特に入院時の痛みのスクリーニング実施とインフォームドコンセントへの同席を強化し、患者さんの意思決定支援を行っています。



### 慢性心不全看護認定看護師

7階東病棟  
看護師長  
阿嘉 直美

血液浄化療法部  
副看護師長  
玉城 賢志  
(特定行為看護師)

入退院を繰り返す患者さんに対し、症状コントロールに必要な生活指導と服薬指導を行っています。また、心臓リハビリテーション指導士と連携し、在宅療養が継続できるようにサポートをしています。病棟スタッフへ実践指導や勉強会などの教育支援を行っています。



### がん放射線療法看護認定看護師

放射線治療室  
副看護師長  
宮城 智江

放射線治療に対する不安や副作用による苦痛を少しでも軽減できるように患者さん、家族へ支援を行っています。また、治療が順調に実施されるだけでなく、生活の質が低下しないよう、医師や病棟看護師、他部門との調整役も担っています。



### 緩和ケア認定看護師

緩和ケアセンター  
看護師  
柵原 陽子

4階東病棟  
看護師  
儀間 真美

患者さんの痛みやリンパ浮腫などの身体および精神的苦痛の緩和、家族のつらさの軽減など早い時期から介入し、患者さんが安心して自分らしい生活ができるように心がけています。また、患者さんが安心して病気と向きあえる体制作りに力を入れています。



材料部  
看護師長  
富島 美幸



感染対策室  
副看護師長  
眞築城 咲子  
(特定行為看護師)



集中治療部  
看護師  
伊徳 清貴



8階西病棟  
看護師  
芦塚 陵子

### 感染管理認定看護師

患者さんや医療スタッフの感染予防と対策を行うため、組織横断的に活動しています。手指衛生の推進や職業感染予防、教育活動などに携わっています。特に力を入れているのが医療関連感染サーベイランスの実践であり、医療関連感染予防ケアの質の向上を目指して活動しています。



キャリア形成支援センター  
看護師長  
平良 智恵美  
(特定行為看護師)



外来  
副看護師長  
平 洋子



褥瘡対策室  
副看護師長  
仲宗根 亜由子



10階西病棟  
副看護師長  
新崎 真由美



褥瘡対策室  
看護師  
翁長 浩一郎

### 皮膚・排泄ケア認定看護師

外来や病棟で患者さんにケアを行う一方、スタッフからの相談対応、定期的な勉強会の開催、褥瘡対策チーム回診等を通じてスタッフ教育にも携わっています。患者さんの快適な日常生活のサポートを行えるよう知識・技術の向上、ケアの開発に取り組んでいます。



8階東病棟  
副看護師長  
神村 美奈子



10階東病棟  
看護師  
下地 あずさ

### 摂食・嚥下障害看護認定看護師

摂食嚥下障害のある患者さんのケアに取り組んでいます。口腔ケアや食事介助を通じて患者さんの生命力の復活と疾病からの回復を図っています。他部署からのコンサルトなどにも積極的に介入し、口腔ケアや摂食ケアに必要な知識とスキルをスタッフへ伝え、ケアの向上を目指しています。



管理室  
看護師  
知念 さゆり



5階東病棟  
看護師  
知念 紫維葉

### 認知症看護認定看護師

認知症者の意思を尊重することを旨とし、認知症をもちながらも安心して治療が受けられるよう支援しています。また、退院後もその人らしく生活できるよう、患者本人とともに家族もサポートしています。看護実践を通して、認知症者へのケアに必要な知識とスキルをスタッフへ伝え、病院全体として安心できる看護が提供できることを目指しています。



手術部  
副看護師長  
謝名堂 昌人

### 手術看護認定看護師

術前・術中・術後を通して患者さんに寄り添った安心・安全な手術看護を提供できるようにスタッフと協力しながら取り組んでいます。また、手術部に留まらず他部門との連携を強化し、患者さんにより良い手術環境の提供に努めています。



NICU  
副看護師長  
与那覇 和美

### 新生児集中ケア認定看護師

急性期にあるハイリスク新生児の身体的ケア、および神経行動学的発達と親子関係形成の支援を行っています。新生児と家族を中心とした医療・看護の提供を目指して、両親に学習会を開催、新生児の生きる力を家族、スタッフで支援する体制作りを行っています。

### ストーマ(WOC)外来

- 【目的】
- ・術前、外来でストーマに関する情報の提供
  - ・入院中、患者・部署スタッフへセルフケアに向けたサポート
  - ・退院後、社会復帰に向けた長期的なサポート

【対応看護師】 専従看護師 1名・専任看護師 1名(皮膚・排泄ケア認定看護師)

【開設日】 消化器：月・水・木 9:00～16:00 泌尿器：月・火・金 9:00～16:00

【開設場所】 診療科外来



Wound: 褥瘡などの創傷ケア  
Ostomy: ストーマケア  
Continence: 失禁ケア



# 看護体制・勤務体制・看護方式

## 看護体制

病床数 600床  
 一般病棟看護配置 7:1 急性期看護補助体制加算 25:1  
 精神科病棟看護配置 13:1 看護職員夜間配置加算 12:1

## 勤務体制

2交替制(全部署) 日勤 8:00~16:45 長日勤 8:00~21:00 夜勤 20:00~9:00

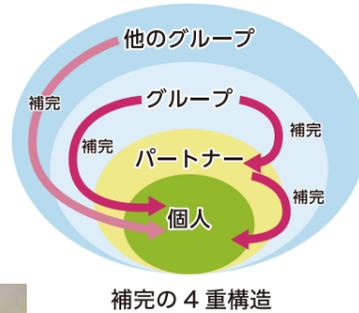
## 看護方式

### パートナーシップ・ナーシング・システム <PNS>

パートナーシップ・ナーシング・システム(以下、PNS)は、安心・安全な看護の提供方式として福井大学医学部附属病院で開発され、当院でも2013年から全病棟で導入しています。

看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的とし、**2人の看護師が良きパートナーとして、対等な立場で、互いの特性を活かし、相互に補完し**協力し合う看護提供方式です。

2人の看護師は、毎日の看護ケアをはじめ、委員会活動、病棟内の係の仕事に至るまで、1年を通じたパートナーとして、その**成果と責任を共有**します。「責任」と「やりがい」を2人で分かち合う新たな看護方式で、さらに右図のように補完の4重構造をもってサポートする仕組みです。



ペアで本日の作戦会議 ベッドサイドでのケアと記録 リシャッフルによる業務調整

### パートナーシップマインド

**Mind** 心・精神・意識

他者に依存するのではなく、一人のプロフェッショナルとして自らの頭で考え、自らを助く**心の持ち様**である。

**パートナーシップ** 「共に何事かを成す仲間との信頼に基づく対等な関係」

**パートナーシップの3つの心** 「自立・自助の心」「与える心」「複眼の心」



### ※PNSの特徴

- ◆勤務の時は必ず受け持ち患者を担当することで、受け持ち看護師としての役割を發揮できる。
- ◆ペアでベッドサイドに行くことで、先輩看護師の経験知や暗黙知に学ぶ機会となる (OJT 効果)。
- ◆新人看護師は、先輩看護師とペアになることで、安心・安全な看護の提供に繋がる。
- ◆先輩看護師も、新人の丁寧な患者対応や気づき・フレッシュマンとしての感性に学ぶ機会となる。
- ◆個々の看護観やシャドーワークの共有が可能となる (看護観の醸成と看護技術の伝承)。
- ◆看護記録をリアルタイムに記載することで、医療チーム間で迅速な情報共有が可能となる。
- ◆業務の定時終了で、超過勤務**縮減**とワークライフバランスの推進、離職防止に繋がる。

# キャリア形成を支える教育体制

充実した教育体制と研修プログラムを用いて、スタッフのキャリア形成を支援しています。

## ポイント1 クリニカル・ラダーと新人教育サポーター制

**新人教育** パートナーシップによる指導体制を強化した新人教育サポーター制を導入しています。新人教育サポーターが新人教育の中心的役割を担い、全スタッフが計画的・段階的に指導する教育体制のもと、新人が基本的な看護技術を確実に習得できるよう支援しています。集合研修においては、実践に生かされるように演習やグループワークに力を入れています。また、フォローアップ研修等で交流の場を設け、新人同士の仲間づくりを支援しています。

**現任教育** 看護職員一人ひとりの持つ能力を活用し、患者中心の質の高い看護を提供することを目的として、クリニカル・ラダーによる人材育成を行っています。集合教育においては、認定看護師による、静脈注射院内認定研修、感染対策スキルアップ・皮膚排泄ケアスキルアップ研修等に力を入れています。また、専門職として主体的に能力開発を目指す人材を組織的に支援しています。

## ポイント2 シミュレーション教育

病院敷地内にクリニカルシミュレーションセンターを併設しており、臨床と同じ環境で看護技術等が習得できます。少人数のグループ毎に指導者がついて、きめ細かな指導を行っています。

### ◎タスクトレーニングの実施

注射や採血などの技術トレーニングです。どのような条件下でも技術が安全・正確に実施できるまで、本院の看護手順書に沿って、チェックリストを使用し反復して練習します。

### ◎シチュエーション・ベースド・トレーニングの実施

急変時対応などについて、状況に基づいたシミュレーション研修を行います。実際の臨床の場面を設定(シナリオ)し、思考過程のトレーニングを行います。チーム連携の強化(観察と報告)や患者さんへの説明、フィジカルアセスメントを学びます。

## クリニカル・ラダーと新人教育

<ul style="list-style-type: none"> <li>●認定看護師教育課程進学への推薦対象</li> <li>●副看護師長への昇任対象</li> <li>●看護師特定行為研修への推薦対象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●専門看護師(修士への進学)の推薦対象</li> <li>●院外長期研修への派遣対象 (臨床実習指導者・専門領域別)</li> </ul>
<p><b>レベルIV (レベルIII修了者) 5項目の研修</b>                  到達目標: コアグループサブリーダーの役割がとれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●看護管理研修 ●倫理研修 ●接遇研修 ●災害訓練 ●看護研究</li> </ul>	<p><b>新人教育サポーター研修</b>                  (教育概論・効果的な指導技術・リフレクシオン・シミュレーション)</p> <p><b>1. 新人教育サポーターの条件</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日常業務の遂行能力がある。 →クリニカル・ラダーレベル1修了者 看護師経験3年以上の者</li> <li>2) 指導の基本的知識と技術・態度を身につけている。</li> <li>3) 指導者として役割意識を持っている。</li> <li>4) 人間関係が円滑で、健全な組織人である。</li> </ol> <p><b>2. 新人教育サポーターの役割・行動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新人の学習ニーズと教育ニーズを把握する。</li> <li>2) 組織の目標や意向を十分に理解し、教育担当副看護師長と協働し、新人指導計画を立案する。</li> <li>3) グループ全員が新人の教育に関わるよう指導や評価の担当者を調整し、依頼する。</li> <li>4) 新人の基礎看護技術習得状況を確認し、習得に向けサポートする。</li> </ol>
<p><b>レベルIII (レベルII修了者) 8項目の研修</b>                  到達目標: リーダーとしての役割がとれる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重症患者ケア ●論理的な文章の書き方 ●事例発表 ●接遇研修</li> <li>●看護管理概論 ●リーダー育成研修 ●アドボカシー 他</li> </ul>	
<p><b>レベルII (レベルI修了者) 13項目の研修</b>                  到達目標: メンバーの一員として、受け持ち看護師の役割発揮と後輩への指導ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●気管内挿管補助 ●医療倫理 ●救急看護 ●フィジカルアセスメント</li> <li>●深部静脈血栓症の予防(応用編) ●退院支援スキルアップ研修</li> <li>●メンタルヘルス ●アサーティブコミュニケーション</li> <li>●リーダー育成研修 ●静脈注射実践指導者研修 ●接遇研修 他</li> </ul>	
<p><b>レベルI (新人) 20項目の研修</b>                  到達目標: 職場環境に適応し、日常生活援助に必要な基礎看護技術が習得できる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎看護技術(移動移送・食事介助・経管栄養・口腔ケア・気管内吸引・酸素療法・エンゼルケア)</li> <li>●スキンケア・接遇研修・インスリンの基礎知識 ●BLS・感染管理・看護の安全</li> <li>●静脈注射教育プログラム(基礎編) ●深部静脈血栓症の予防(基礎編)</li> <li>●フィジカルアセスメント ●看護診断セミナー(初級・中級・上級)</li> <li>●消防訓練 ●新人6か月フォローアップ研修 ●新規採用者ナラティブ発表会 他</li> </ul>	

## ポイント3 院内認定制度 Ryukyu Expert Nurse (REN)

当院では、領域毎の専門性を高めるために院内認定制度を導入しています。現在の認定分野は、皮膚・排泄ケア、感染管理、がん看護の3分野で院内認定を実施しています。院内認定取得者には、自部署で専門領域の実践・相談・教育を行い、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上に貢献しています。

## ポイント4 専門看護師・認定看護師によるサポート体制

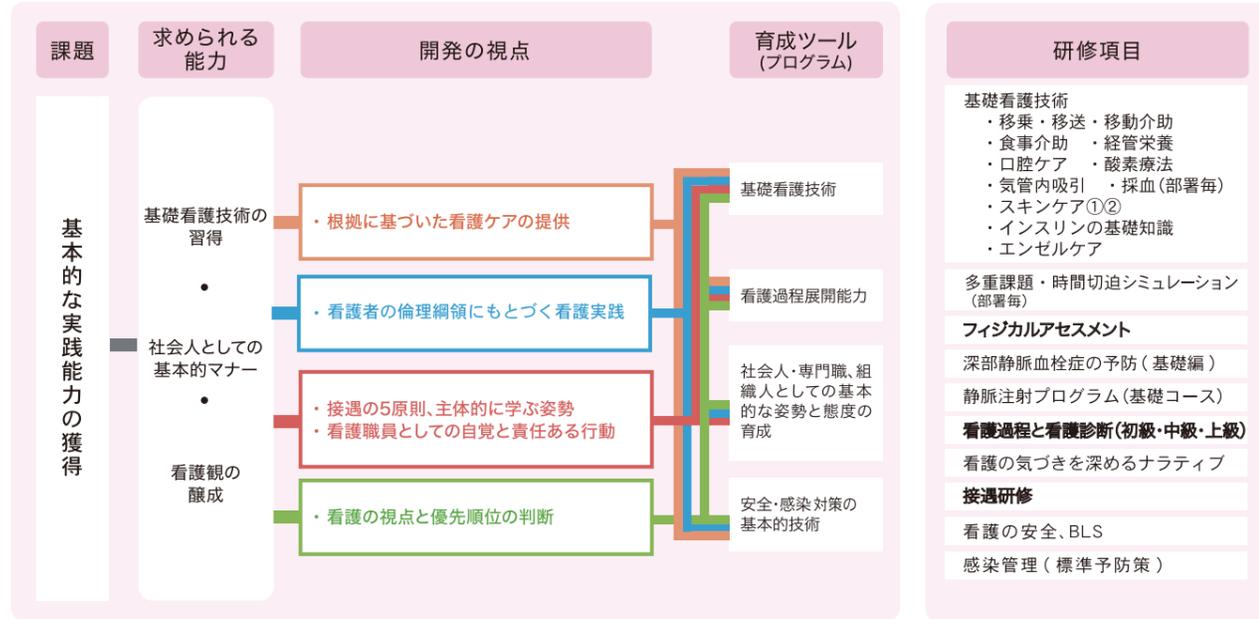
看護ケアの充実と質向上を目指し、スタッフ指導や専門領域の院内研修を担当し実践力向上をサポートしています。専門・認定看護師委員会が設置されており、領域毎の教育プログラムを実施しています。専門・認定看護師資格取得希望者に対しては、キャリア相談を行っています。

# 看護師育成プログラム

## 新人看護師育成プログラム レベルⅠ

新人

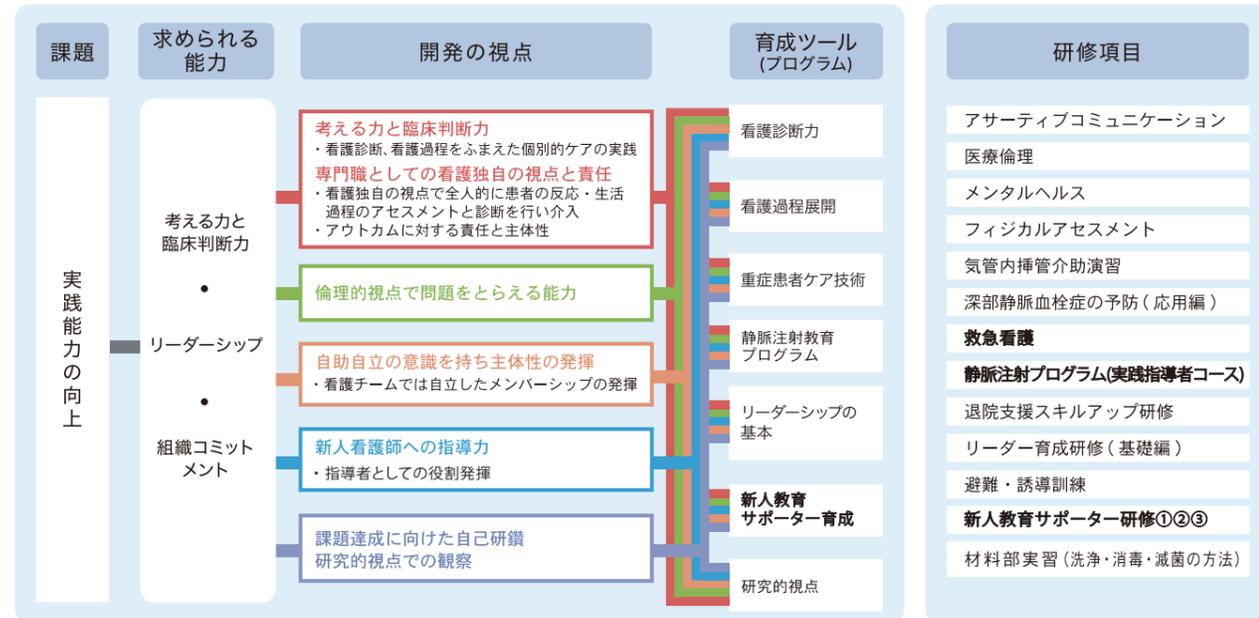
新人看護師は、根拠に基づいた看護技術を習得し、基本的な臨床実践能力の獲得と看護観の醸成につなげることが求められる。そこで、社会人としての基本的マナーを身につけ、責任ある行動がとれる人材を育成する。



## 一人前看護師育成プログラム レベルⅡ

メンバー

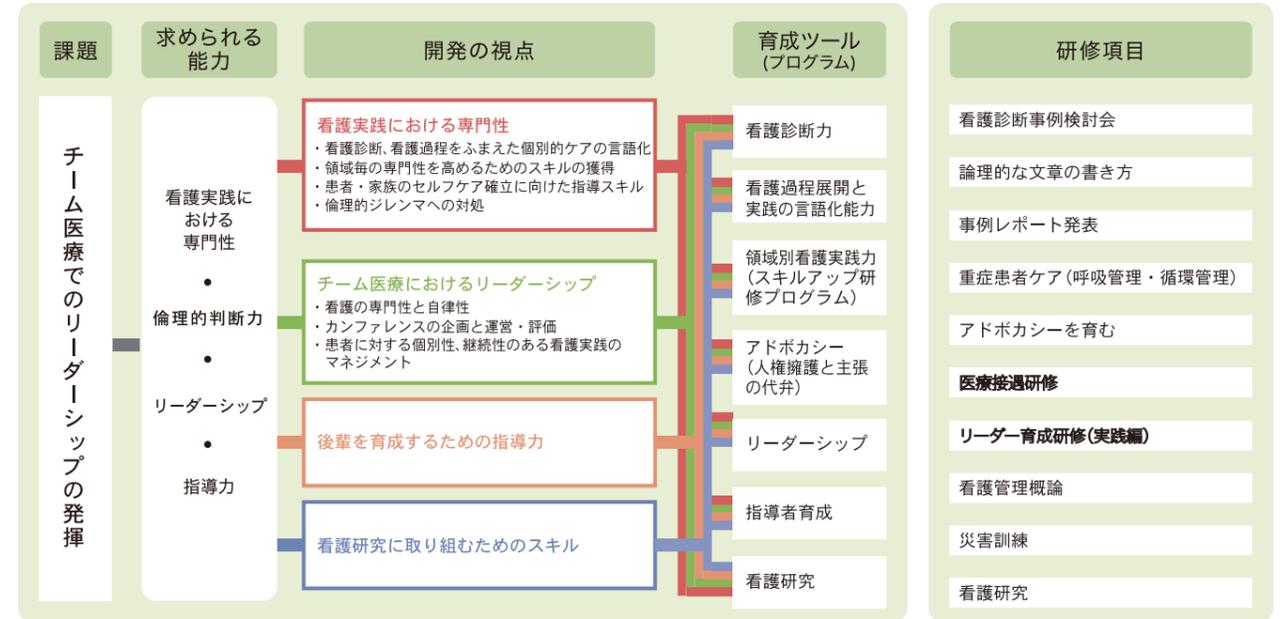
一人前看護師は、メンバーの一員として受け持ち看護師の役割を發揮し、専門職として看護独自の視点で、考える力と臨床判断力を身につけることが求められる。そこで、後輩への技術指導、メンタル面でのサポートができる人材を育成する。



## 中堅看護師育成プログラム レベルⅢ

リーダー

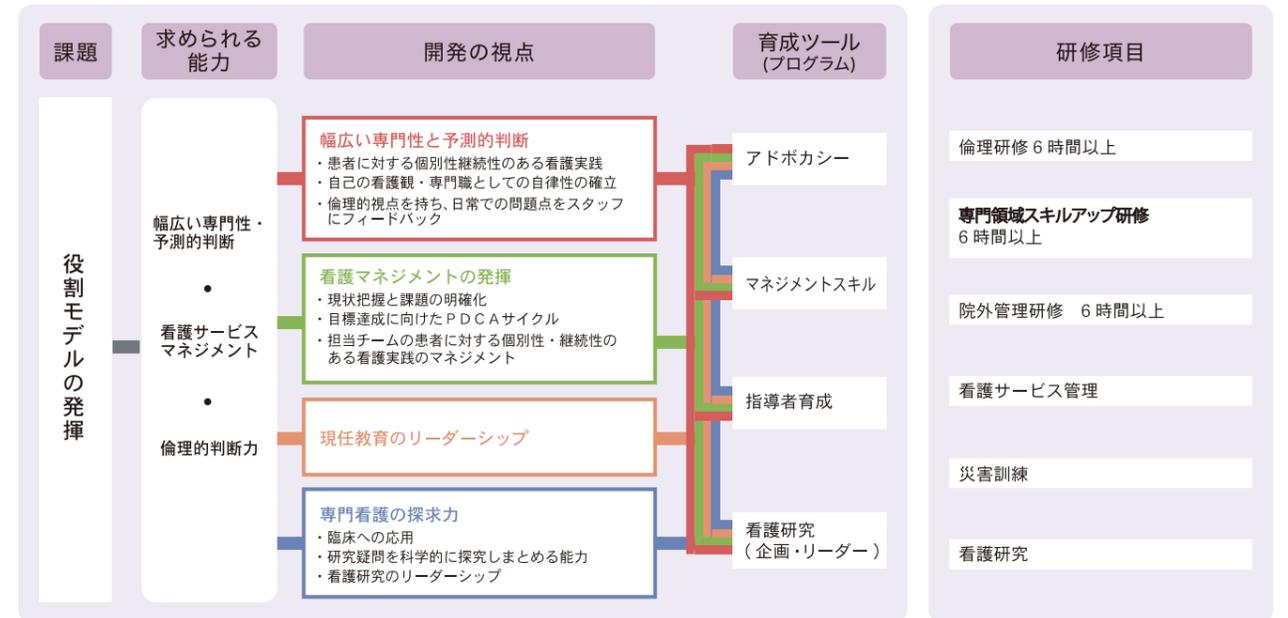
中堅看護師は、患者ニーズとスタッフの能力を考慮し、安心安全な看護ケアの提供ができるようリーダーとしての役割が求められる。そこで、部署における専門的看護実践と多職種連携を図り、チーム医療におけるリーダーシップが發揮できる人材を育成する。



## 達人看護師育成プログラム レベルⅣ

コアグループサブリーダー

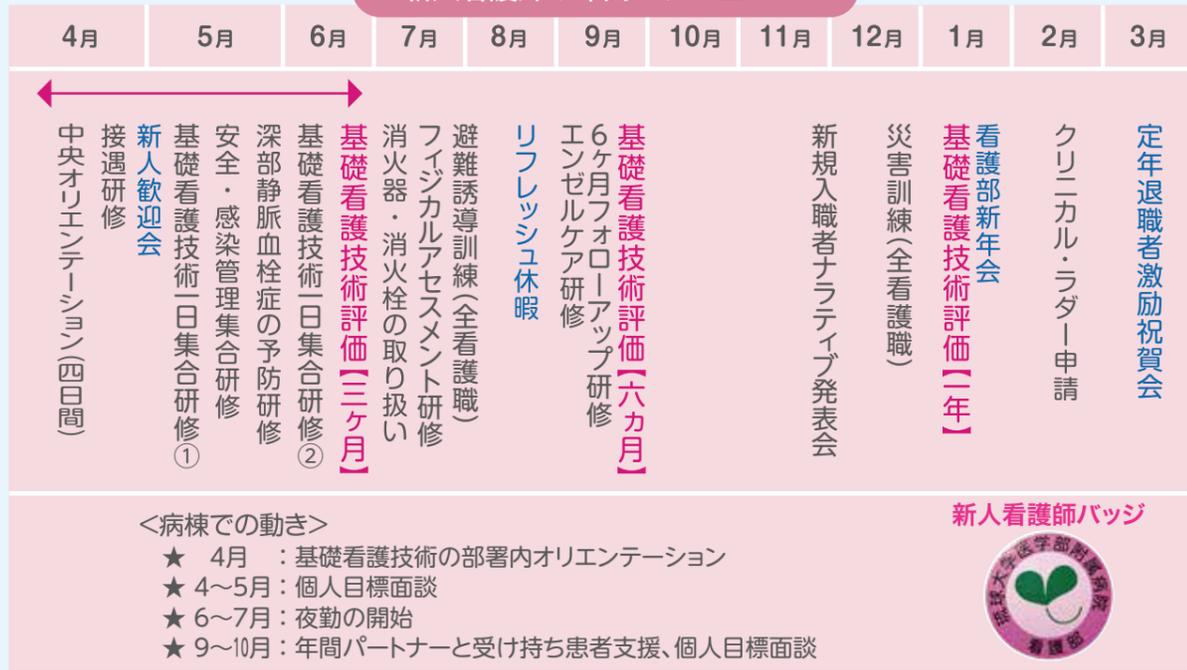
達人看護師は、組織的な教育・研究活動を主体的に実践し部署目標に貢献できる。また、幅広い視野で予測的判断を持ち看護実践するという役割が求められる。そこで、専門領域における看護実践の役割モデルが發揮できる人材を育成する。



# 2020年度 現任教育 — 新人看護師育成プログラム(抜粋) —

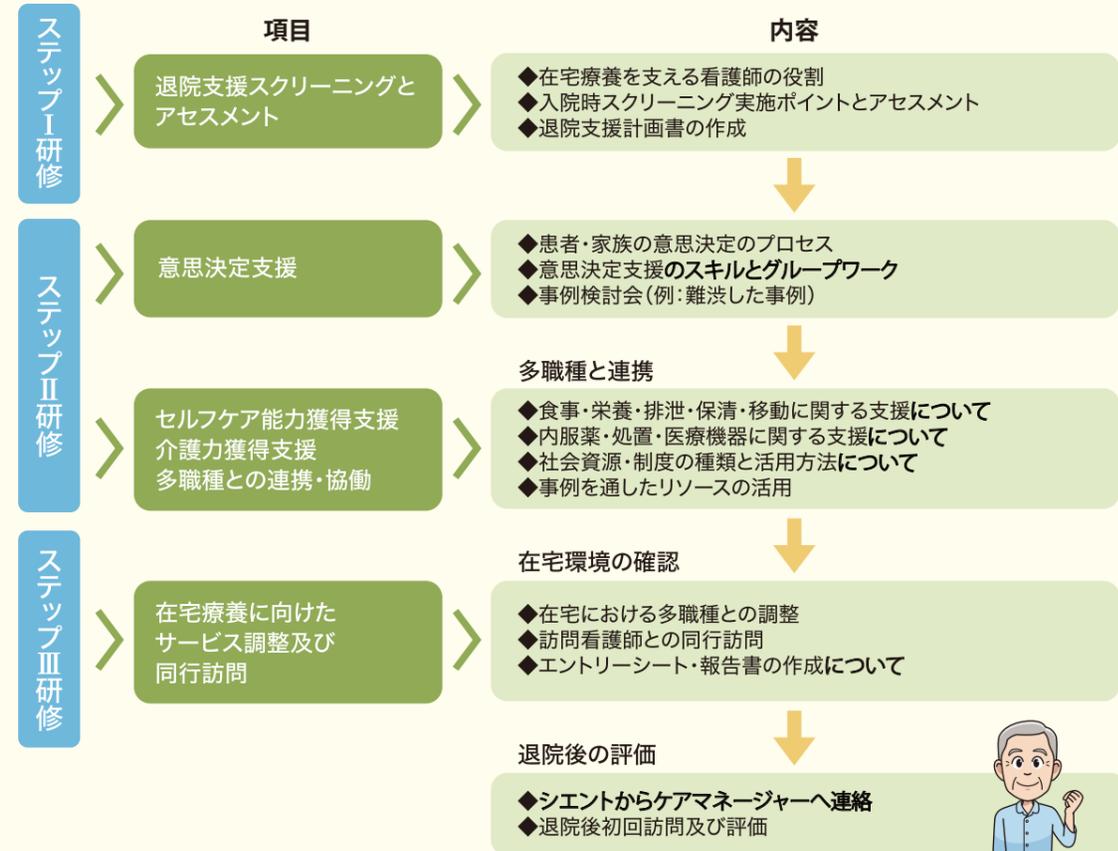
**目的** 新人看護師が、社会人としてのマナーや看護観の醸成、根拠に基づいた看護技術が習得できるよう支援する。

## 新人看護師の年間スケジュール

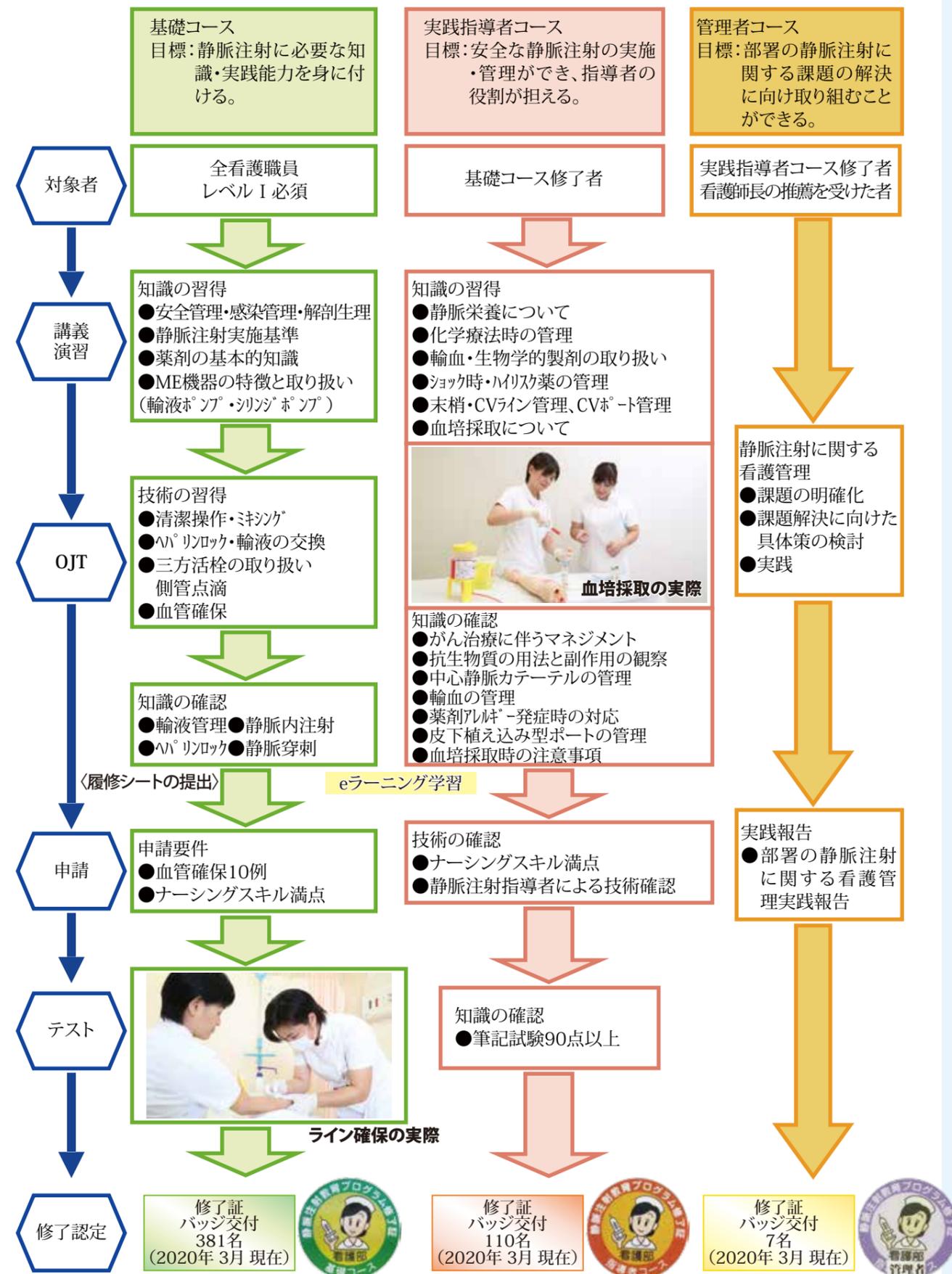


## — 退院支援スキルアッププログラム —

**目的** 大学病院として急性期の機能を担うために、退院支援を強化すると共に、看護師の実践能力を養成する。



# 2020年度 現任教育 — 静脈注射教育プログラム —



## 院内研修 –レベルI教育–

### BLS

**目的** 一次救命処置の理解と手技が習得できる。

#### 演習のポイント

- BLSの一連の流れ
- 胸骨圧迫の仕方
- マスク換気方法
- 意識レベルの確認
- AEDの使用法

胸骨圧迫・人工呼吸は30:2でいきましょう！



効果的な胸骨圧迫は、しっかり押しきりましょう！

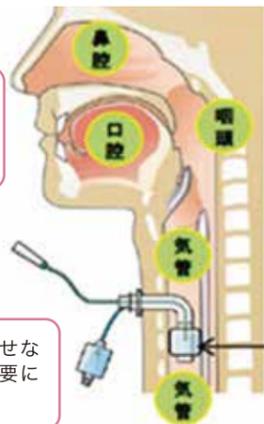
### 気管内吸引

**目的** 気管内吸引時に必要な観察を行い正しい方法で気管内吸引ができる。



チューブの挿入長さは？  
吸引圧は？  
吸引時間は？  
痰を上手く取るコツは？

上手く痰が出せないと吸引が必要になります。



#### 講義

- 呼吸の解剖・生理
- 気管内吸引時の看護について

#### 演習のポイント

- 視診・聴診で蓄痰等の観察と早期対応ができる。
- 気管内チューブの管理と吸引の手技を獲得する。

### エンゼルケア

**目的** 患者さん・ご家族に対する死亡時のケアの意義を理解し実践できる。  
(ご家族への配慮、シャワー浴、更衣、エンゼルメイク)



顔をきれいにしましょう。

顔のマッサージ



お着替えてお家に帰る準備をしましょう。

更衣の実際

#### 演習のポイント

- 自己の体験の共有(グループワーク)
- ＜ケアの実際＞  
顔のマッサージ  
シャワー浴  
更衣  
・ネクタイの結び方  
・エンゼルメイク

## 院内研修 –レベルII教育–

### フィジカルアセスメント

**目的** フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を獲得し、緊急性及び重症度の判断ができる。フィジカルアセスメントに基づいた看護展開ができる。



コースクラックル？ウィーズ？

捻髪音ってこんな音なんだ・・・

大動脈弁、僧房弁領域で心音も確認！

心音と脈拍は合っている？

脈拍も触診

肺音・心音の性状比較

#### 知識の習得

- (eラーニング学習・テスト)
- 正常呼吸音・心音
- 異常呼吸音・心音

#### 技術の習得

- (シミュレーター活用)
- 問診・視診・触診
- 打診・聴診

#### 事例で学ぶ

- (シミュレーション)
- 肺炎、心不全、イレウス、DVTの事例を通して臨床推論する。

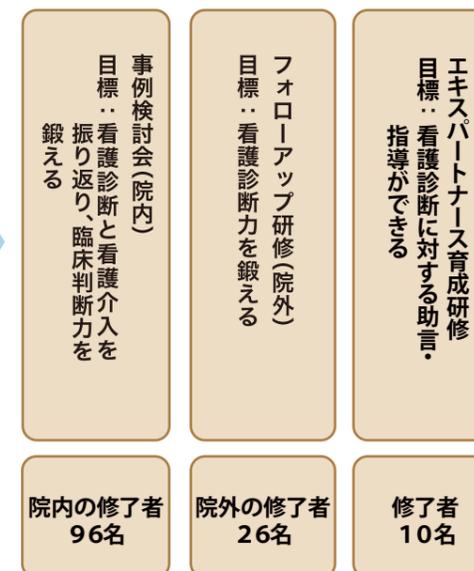
### 看護診断

**目的** 臨床判断に基づく看護過程の展開ができる。

#### 看護診断スキルアップ研修 (初級から上級まで段階を経て修了する)



#### 看護診断指導者育成研修



## 先輩ナースからのエール



### 6階西病棟 喜友名 梨乃 (2018年入職)

小児病棟に配属された新人の頃は緊張だらけの毎日でした。しかし、琉大病院はPNS制度が充実しており、日々困った事や疑問があればすぐに報告、相談できる頼れる先輩方がいます。また先輩の温かな指導の下、根拠に基づいた基礎看護技術の習得ができました。そして最近では少しずつ余裕もでき、充実した日々を送ることができています。また新人教育研修等を通して、同期との交流を深めながら共に成長することもできました。今後も、さらに成長できるように初心を忘れずに頑張っていきたいと思っています。



### 手術部 林 聖 (2018年入職)

私は、新人看護師で手術室勤務となりました。初めの頃は手術室看護師がどういったことを行っているのかもわからず、緊張の毎日でした。しかし、先輩方が新人一人ひとりに優しく丁寧に教えてくださり、また、気の合う同期と励まし、励まされながら毎日頑張ることができています。手術室では、チームの一員として治療の最前線に直接かかわることができ、充実した毎日を送ることができています。これからも、今よりもより充実した日々となるよう、一歩ずつステップアップしていきたいと思っています。



### 1階西病棟 豊田 香織 (2009年入職)

婦人科病棟、手術室での経験を経て放射線科病棟で勤務しています。三人の子育てと仕事の両立に奮闘中です。部署では勤務の調整をいただき、育児短時間勤務を経て現在は常勤として夜勤も行っています。優しい先輩と気さくな同僚、かわいい後輩に囲まれ、忙しい毎日の中でもやりがいを感じます。今年度は新人教育サポーターとして新人看護師とパートナーを組むことで、メキメキ成長してく姿に刺激され自分もステップアップしていきたいと思っています。



### 6階西病棟 副看護師長 中村 優花 (2003年入職)

私は小児病棟で勤務しています。小児病棟では急性期から慢性期、外科系・内科系に関わらず全ての小児を対象としています。子どもは大人と違って一筋縄ではいかないことも多々ありますが、子どもたちの笑顔に癒やされる日々です。病棟ではPNSやOJTを活用し、実践を通して新人教育を行っています。先輩看護師と一緒に対応することで、その場で必要な看護技術・対応方法を学ぶことができます。後輩と一緒に働く中で感じることは、経験の差はあっても「子どもが好き」という気持ちは変わらないということです。病気になることは辛いことですが、この経験が辛いだけの経験にならないで、子ども達がやりたいことや夢を諦めることがないように新人と一緒に支援することで、私自身の成長にもつながっています。



### 7階東病棟 副看護師長 天久 達二 (2006年入職)

キャリアアップを目指す新人看護師であった私には、大学病院の働く環境は、興味のある分野や先進医療へ触れる機会が多く、仕事への楽しみだけではなく学ぶ意欲につながりました。その中で、一緒に働く同期や後輩、仕事だけでなくプライベートでも支えとなる先輩看護師との出会いがあり、仕事へのやりがいを見つけることができました。今では、心臓リハビリテーション指導士の資格を取得し、副師長としての役割も担い、仕事への責任と厳しい環境の中でも仕事への楽しさを見つけれられるよう後輩育成に力を注いでいます。

## 働き続けられる職場環境



### 8階東病棟 副看護師長 加治工若菜

私は、新人看護師として当院に入職して15年以上になりました。その間4回の出産を経験し、第二子から第四子まで育児短時間制度(6時間勤務)を活用しながら勤務が継続できています。育児休暇取得後に育児短時間勤務で病棟に復帰し、子どもがそれぞれ3歳になるまでこの制度を活用しました。

仕事と育児の両立は不安が強いのですが、育児短時間勤務の選択が出来る為、安心して仕事に復帰する事ができました。育児短時間勤務の期間は病棟師長やスタッフの理解と配慮もあり、週末に子どもと過ごす時間ももてました。家族の体調管理の面でも安心して仕事が続けられる為、子育てと仕事の両面において、とても充実した日々が過ぎました。現在は、フルタイムに戻り、自分の看護師としてのキャリアを継続でき、副看護師長として勤務しています。毎日新しい発見があり、やりがいを感じています。



### 9階西病棟 副看護師長 花城貴子

私は就職して今日に至るまで5人の子供を出産し、育ててきました。2人目の誕生後から3年育休、育児短時間制度が利用できるようになり、子供の成長を見ながら自分で仕事復帰できる時期を決めることができ、家族のライフスタイルに沿って仕事ができたと感じます。

育児短時間制度を利用し、働きながら子供の成長に寄り添える生活はとても安心した心地よい時間でした。現在は、フルタイムに戻り夜勤もしていますが、子供たちは家族で協力しながら家事を分担し、お互いに兄弟の面倒を見たりしてたくましく成長しています。

育児休業、育児短時間制度の利用を通して育児、家庭の基礎を築くことができ、仕事を継続する自信ができたと思います。子育てしながら、働き続けていける機会を頂き感謝しています。



### 比嘉紀晃(光学医療診療部)・志乃(8階西病棟)

私たちは夫婦で琉大病院に勤務し20年以上になり、子供は3人います。3人目の時に育児短時間制度が始まり利用しました。時短期間は残業も考慮してもらい、毎日時間内に保育園にお迎えに行くことができました。子供は病院内のいずみ保育園に預けていたので、送迎も急なお迎えもすぐに行けて便利で、子育てしやすい環境です。子供が3歳をすぎ、夫婦で夜勤業務をしていた時も、お互いの病棟師長が夜勤をかぶらないように調整していただきました。夫婦で夜勤をしながらフルタイムで働くことは大変でしたが、いずみ保育園やゆるーむを活用し、周囲に協力してもらいながら仕事を続けています。今まで周囲に協力してもらった私達も、今度は次の世代に協力できるよう頑張ります。



琉球大学病院保育所(いずみ保育園)



病後児保育室(ゆるーむ)

## 部署紹介



安全な呼吸器ケアの提供を目指して

10階 東病棟

### 第一内科：呼吸器・消化器・感染症内科

- ベッド数:42床(感染症病床:6床、結核病床:4床を含む)
- 看護師配置数:33人 ■ 看護補助者配置数:5人

当病棟では、毎年「呼吸療法士」の資格取得に挑戦し、人工呼吸器管理など質の高い呼吸器ケアの提供に取り組んでいます。また、肝炎コディネーターの資格をもつ看護師が医師、栄養士、薬剤師と協働で「肝炎教室」を開催し、肝炎予防や治療の啓蒙活動に繋がっています。さらに、日本エイズ学会認定看護師を中心に多職種カンファレンスや、症例報告会に参加し、エイズ治療・看護の質向上に取り組んでいます。

(看護師長 根保 愛)



ウロストミーセルフケアの指導

10階 西病棟

### 腎泌尿器外科、皮膚科、第一内科

- ベッド数:47床 ■ 看護師配置数:34人
- 看護補助者配置数:5人

腎泌尿器外科では、腎移植看護やウロストミーケアを充実すると共に、移植学会での発表にも取り組んでいます。また、排尿ケアでは尿失禁や自己導尿の患者指導を実施し、排尿自立にむけて支援しています。

皮膚科では、天疱瘡や強皮症など難治性の皮膚疾患を抱えた患者さんのスキンケアに加え、感染予防や疼痛緩和の視点からケアを工夫し実践しています。

(看護師長 城間 弥生)



自己点眼の指導

8階 東病棟

### 脳神経外科、眼科

- ベッド数:48床 ■ 看護師配置数:36人
- 看護補助者配置数:5人

脳神経外科では、主に脳腫瘍に対する術前・術後、放射線治療・化学療法を受ける患者さんの看護を実践しています。また、運動機能や摂食嚥下機能回復に向けて多職種と連携を図り、リハビリを強化しています。

眼科では、患者さんの点眼手技獲得に向けて、オリジナルDVDを活用し指導しています。安全に手術に臨めるよう患者さんの協力を得ながら、医療安全(患者確認・手術部位確認)に取り組んでいます。

(看護師長 伊良皆 美香)



口腔ケア学会認定看護師による口腔内ケア

8階 西病棟

### 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、形成外科

- ベッド数:48床 ■ 看護師配置数:37人
- 看護補助者配置数:5人

当病棟の主な疾患は、頭頸部の悪性疾患、慢性中耳炎、眼瞼下垂です。周術期や放射線・化学療法を受ける患者さんに対して、口腔ケア学会認定看護師が中心となって口腔内のアセスメントを基に口腔ケアを実施しています。また、NSTチーム、緩和ケアチームと連携し、患者さんのQOLの維持・向上に向けた支援を実施しています。

毎年、歯科医師、歯科衛生士と協働し院内口腔ケアリンクナースを育成しています。

(看護師長 山川 知美)



心リハ指導士資格取得看護師による病棟内リハビリ

9階 東病棟

### 第三内科：循環器・腎臓高血圧・神経内科

- ベッド数:48床 ■ 看護師配置数:38人
- 看護補助者配置数:5人

急性期、慢性期の循環器・腎臓高血圧・神経疾患患者さんの早期回復をめざし、地域や多職種との連携を大切にしています。心疾患に対して心臓リハビリチームと連携し、多職種で退院支援カンファレンスを開催し早期回復につなげています。また、腎不全患者さんに対しては、血液浄化療法部と協働しチームで腹膜透析支援を行い、意思決定支援に力をいれています。非がん患者さんの緩和ケアや高齢者介護など看護実践力の向上に取り組んでいます。

(看護師長 儀部 郁枝)



カードシステムを活用した糖尿病教育

9階 西病棟

### 第二内科：内分泌・血液内科

- ベッド数:48床 ■ 看護師配置数:32人
- 看護補助者配置数:5人

糖尿病療養指導士や多職種と協働した患者・家族を対象とした生活習慣予防教室を毎月開催しています。個別指導としては、糖尿病療養指導カードシステムによる患者の生活スタイルに合った指導を行い在宅療養が継続できるように取り組んでいます。

また、血液内科では、化学療法や骨髄幹細胞移植が行われています。患者さんが安心して治療が受けられるようにサポートすると共に、セルフケアにも力を入れています。

(看護師長 比嘉 泉)



開心術後患者の歩行リハビリ

7階 東病棟

### 第二外科：胸部・心臓血管外科

- ベッド数:48床 ■ 看護師配置数:33人
- 看護補助者配置数:5人

開心術など大手術が多く、周術期における循環・呼吸管理を主とした急性期のリハビリ看護が実践できるよう部署内の教育に力を入れています。また、心臓移植を目的とした補助人工心臓装着患者さんのケアでは術後の心臓リハビリテーション、感染予防策、生活指導など多職種によるチーム力を発揮して万全を期しています。日本循環器看護学会、日本心臓リハビリテーション学会等で毎年発表し、専門性の高い看護を提供できるよう取り組んでいます。

(看護師長 阿嘉 直美)



術後の早期離床に向けた歩行訓練

7階 西病棟

### 第1外科：消化器外科・内分泌外科、麻酔科

- ベッド数:48床 ■ 看護師配置数:32人
- 看護補助者配置数:5人

周術期を中心とした急性期看護、特に合併症予防・早期回復を目指し、術後の早期離床に力を入れています。放射線・化学療法の患者さんも多く、専門的なケアが行われています。効果的な栄養摂取に向けては、NSTカンファレンスを行い支援するとともに、ストーマ造設患者さんには、皮膚排泄ケア認定看護師と協働し、個別的な患者家族指導を行っています。また、がん患者さんには、疼痛緩和とQOLの向上に向けた支援に取り組んでいます。

(看護師長 饒平名 かおり)

## 部署紹介



体幹装具の装着方法の指導

6階 東病棟

### 整形外科

- ベッド数:48床
- 看護師配置数:34人
- 看護補助者配置数:4人

当科では、変形性股関節症、変形性膝関節症、骨軟部腫瘍、関節リウマチ、先天性橈尺骨癒合症などの患者さんが入院されています。手術、化学療法を受ける患者さんは、各年齢層の身体的特徴、心理面を理解し接することが重要となります。

車椅子や歩行器を使用することが多いため、環境整備には特に気をつけています。手術後は、合併症予防に努め、早期離床と状態に併せて日常生活援助を行っています。医師・理学療法士・作業療法士・栄養士・薬剤師など多職種カンファレンスで情報を共有し連携しながら患者さんを支援しています。

(看護師長 糸数 ちえみ)



プレパレーションを用いた患児への説明

6階 西病棟

### 小児科

- ベッド数:38床
- 看護師配置数:33人
- 看護補助者配置数:4人

小児病棟では、小児科以外に全科の15歳未満の患者さんを受け入れ、周術期ケアも実践しています。子どもでも分かり易く安心できるように、プレパレーションを用いた手術や処置、ケアの説明に力を入れています。また、県内で唯一小児造血幹細胞移植を行っており、退院後は専任看護師がフォローアップ外来を実施しています。在宅人工呼吸器管理にむけ地域ネットワークの活用と連携、家族への技術指導とサポートに取り組んでいます。

(看護師長 島袋 優子)



血管内治療の介助

1階 西病棟

### 放射線科、耳鼻咽喉科、腎泌尿器外科

- ベッド数:20床
- 看護師配置数:33人
- 看護補助者配置数:2人

放射線検査・治療部門における診療の介助と看護ケアを提供しています。患者さんの安心・安全に配慮し、どの部門でも急変・緊急時の対応ができるようシミュレーション教育を実施しています。病棟では、放射線単独療法、化学療法との併用療法、分子標的薬療法、動注療法や塞栓術などを受ける患者さんの副作用予防ケアに力を入れています。治療部門では、がん放射線認定看護師を専従配置し、全人的な看護を掲げ、患者さんの不安の軽減、放射線皮膚炎等軽減に向け、スキンケア指導を強化してセルフケアをサポートしています。

(看護師長 西 みゆき)



退院間近のGCU患児のケア

4階 周産母子センター

### 産科・NICU・GCU

- ベッド数:32床(産科 20床・NICU6床・GCU6床)
- 看護師配置数:46人
- 看護補助者配置数:3人

地域周産期母子医療センターとして、地域と連携し、ハイリスク妊産婦や新生児及び低出生体重児を積極的に受け入れています。産科ではアドバンス助産師を中心に妊娠初期から退院後1カ月間、助産師外来で保健指導、ケアを実施しています。NICU・GCUでは、カンガルーケア、新生児蘇生法の習得など安心・安全なケアの提供を目指すと共に、胎内に近い環境の提供と児のストレスサインの観察を行いケアに活かしています。

(看護師長 仲村 なおみ)



自宅退院に向けての患者・家族会議

5階 東病棟

### 精神科神経科

- ベッド数:40床
- 看護師配置数:25人
- 看護補助者配置数:2人

精神科神経科病棟では、大学病院の役割としての急性期ケア、特に身体合併症や周術期、妊産婦などの患者を幅広く受け入れ、看護ケアを行っています。

また、リエゾンチームで、一般科の身体疾患を伴う様々な心理的問題のある患者の心のケアも行っています。患者さんが、退院後も安心して地域で生活できるよう、アサーティブコミュニケーションの指導や多職種協働での退院前自宅訪問等、退院支援に取り組んでいます。

(看護師長 當山 国江)



抗がん剤の血管外漏出予防法の患者指導

4階 東病棟

### 婦人科

- ベッド数:31床
- 看護師配置数:26人
- 看護補助者配置数:3人

婦人科病棟では手術療法、化学療法、放射線療法などの先進医療と看護を提供しています。特に、治療を受けられる患者さんに対して事前に患者指導を行い、起こりうる副作用症状の低減や密な観察による早期対応に努めています。また、多職種との連携により多角的な視点で患者さんの個性性を考慮した介入を進め、チーム医療の推進に繋がっています。

(看護師長 里見 嘉都美)



ICUベッドサイドリハビリ

4階

### 集中治療部

- ベッド数:8床
- 看護師配置数:37人
- 看護補助者配置数:2人

集中治療部では、医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士など多職種が協働し患者さんの全身管理を行っています。毎朝、カンファレンスを行い治療・処置、およびリハビリについて検討し看護ケアに活かしています。また、術後の人工呼吸器装着中から、早期にリハビリテーションを行い、合併症予防に努めています。

当部署には、急性・重症患者看護専門看護師1名、集中ケア認定看護師2名、感染管理認定看護師1名が配置されており、より高度で専門的な知識・技術の提供を行っています。

(看護師長 上原 泉)



最先端手術における直接介助

4階

### 手術部

- ベッド数:11床
- 看護師配置数:44人
- 看護補助者配置数:3人

周術期看護では手術に特化した知識や技術を必要とし、看護実践向上の一助として日本手術看護学会推進の臨床実践能力習熟度段階を活用し専門性を高めています。また個々の患者のニーズに対応できるよう、術前・術後訪問を行っています。がん診療連携拠点病院として複数の診療科が医療チームを組み、ハイブリット手術や術中MRI撮像下開頭脳腫瘍手術、最先端手術のロボット支援手術など安心・安全な手術に向けコメディカルが協働しています。

(看護師長 島袋 博美)

## 部署紹介



模型を使ったインスリン自己注射の指導

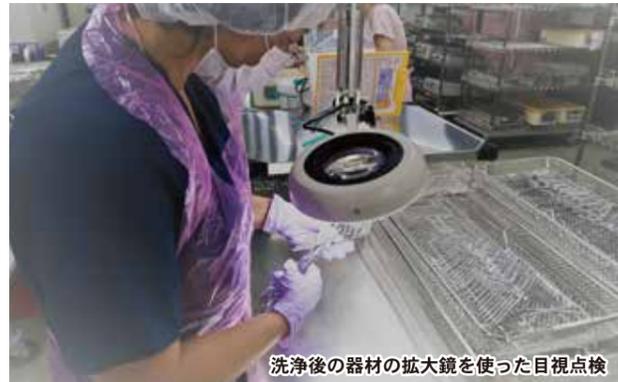
1階～3階

### 外来

- 診療科：21科
- 看護師配置数：35人
- 看護補助者配置数：16人

患者の満足度とQOLの向上をめざし、接遇強化や患者誤認防止対策を継続しています。また、継続看護として、緊急入院患者さんの「外来患者情報シート」を作成し、活用を推進しています。さらに、専門分野の資格者を活用し、専門・認定看護師と連携を図っています。外来化学療法や糖尿病療養指導、皮膚・排泄ケア、がん看護外来、HIV療養指導、造血幹細胞移植後外来など多岐にわたり、看護師が活躍しています。

(看護師長 源河 里美)



洗浄後の器材の拡大鏡を使った目視点検

3階

### 材料部

- 看護師配置数：4人

病院内では様々な医療器材や医療材料が使用されています。材料部では、使用した医療器材の洗浄・滅菌業務と、医療材料の管理・供給業務の二つの大きな役割を担っています。これらの材料の適切な管理には高度な技術を要するため、積極的に研究会や学会に参加し、改善活動に取り組んでいます。患者さんに清潔で安心・安全な医療器材が提供できるよう、目視点検をはじめ洗浄評価や滅菌評価を行い、質の向上に努めています。

(看護師長 富島 美幸)



心肺停止患者受け入れ時の対応シミュレーション

2階

### 救急部

- 外来ベッド数：6床 HCU：6床
- 看護師配置数：38人

一次から三次までの救急患者を24時間体制で受け入れています。院内トリアージを導入し、重症度・緊急度の見極めから、救急搬送された重症・心肺停止患者の初療処置・検査・治療までをチームで取り組んでいます。HCUは、小児から高齢者、各科の重症患者を受け入れています。救急外来・病棟間でPNSの強化を図り両方の業務をこなせるようスタッフの育成にも力を注いでいます。

(看護師長 比嘉 美津代)



血液透析中の多職種による安全確認

2階

### 血液浄化療法部

- ベッド数：20床
- 看護師配置数：12人
- 看護補助者配置数：1人

血液浄化療法部では、医師・看護師・臨床工学技士が、各職種の専門性を発揮し、安全な透析療法の提供を目指しています。重症患者が年々増加傾向にある中、日々の治療・看護を安全に実施できるよう、多職種協働で、業務を行っています。腎代替療法選択外来では、個々のライフスタイルにあった治療法が選択できるよう情報を提供し、意思決定支援を行うとともに、PDチームを中心に、導入前～手技確立までの指導を行っています。

(看護師長 榮野川 喜美子)



入院や退院支援に向けての相談

2階

### 医療福祉支援センター

- 看護師配置数：15人

医療福祉支援センターは医師や専任看護師・医療ソーシャルワーカー・事務職などが協働して患者さんの社会的・経済的問題や医療・看護等に関わる様々な不安や心配事に対応し相談に応じています。入院準備部門では、入院が決定した時点から安心して入院生活が送れるよう入院中の診療やケアの説明、アレルギーの有無や食事形態、転倒転落等のスクリーニングを実施しています。退院調整部門は入院早期から退院支援カンファレンスを行い、地域の医療機関や関連施設、訪問看護ステーションなどと連携し在宅療養支援に繋がっています。

(看護師長 富山 美奈子)



気管内吸引のタスクトレーニング

別館

### おきなわクリニカルシミュレーションセンター (ちゅらsim)

- 看護師配置数：1人

看護部から看護師が配置されているため連携がとりやすく充実した研修設備と支援体制が整っています。

病棟敷地内に隣接しており、臨床と同じ環境下で看護技術が習得できるよう支援しています。特に、静脈注射プログラム実施や気管内吸引手技等においては、少人数のグループで、きめ細かな指導を心がけています。

(看護師長 知名 智子)



検査・治療前のタイムアウトの実践

2階

### 光学医療診療部(内視鏡室)

- 検査室：4室(透視室1室)
- 看護師配置数：3人
- 看護補助者配置数：2人

光学医療診療部では、内視鏡を使用して上部・下部内視鏡・小腸内視鏡・気管支鏡・カプセル内視鏡・逆行性膵胆管造影検査・治療などを専門的に行っています。

安全・安楽に内視鏡検査・治療を行うため、外来や病棟と連携し、検査前から患者さんに寄り添いながら、不安の軽減に努めています。チーム医療として安全に検査・治療を実践するため医師、看護師、臨床工学技士等のコメディカルと協働し取り組んでいます。さらに、看護師も内視鏡技師の資格を取得し専門性を高めています。

(副看護師長 金城 真由美)

## 看護師宿舎

入居希望者に対し、大学敷地内に職員宿舎(ワンルームマンションタイプ)を用意しています。

- ★全室個室無料提供
- ★女性独身者対象
- ★光熱費・水道料は個人負担



看護師宿舎全景



間取り